

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕 入	300,000	受 取 手 形 現 金	200,000 100,000
2	買 掛 金 現 金	800,000 200,000	売 掛 金	1,000,000
3	有 価 証 券	96,000	当 座 預 金	96,000
4	土 地	500,000	当 座 預 金	500,000
5	借 入 金 支 払 利 息	800,000 32,000	普 通 預 金	832,000

・解説

1. 仕入取引・手形取引に関する問題です。

本問は【手形の裏書きに関する仕訳】【掛け仕入に関する仕訳】に分けて考えましょう。

■手形の裏書きに関する仕訳

問題文に「代金のうち ￥ 200,000 は吉田商店振出しの約束手形を裏書譲渡」とあるので、**受取手形の減少**として処理します。

★解答①

(借) 仕 入 200,000 / (貸) 受取手形 200,000

■掛け仕入に関する仕訳

通常の掛け仕入です。残額 100,000 円 (= 300,000 円 - 200,000 円) を買掛金で処理します。

★解答②

(借) 仕 入 100,000 / (貸) 買 掛 金 100,000

以上、①②をまとめると解答仕訳になります。

2. 債権債務の相殺に関する問題です。

本論点の問題は今回が初めての出題になりますが、処理自体は非常に簡単です。

借方の売掛金 1,000,000 円と貸方の買掛金 800,000 円を相殺するとともに、貸借差額の 200,000 円については、問題文に「藤澤商店振出しの小切手で回収した」とあるので**現金**で処理します。

- ・得意先振出小切手を受け取った場合：現金の増加（本問）
- ・当店振出小切手を受け取った場合：当座預金の増加
- ・得意先振出小切手を受け取って、ただちに当座預金に預け入れた場合：当座預金の増加

債権債務の相殺に関する問題は、現時点では本問のみです。

3. 有価証券の購入に関する問題です。

株式や社債を購入した場合、取得原価に付随費用（取得に伴い発生した費用）を含めて資産計上しますが、本問は付随費用が発生していない（＝ゼロ）ので、購入代価がそのまま取得原価になります。

$$\text{取得原価} = \text{購入代価} + \text{付随費用} = 100,000 \text{ 円} \times @96 \text{ 円} / @100 \text{ 円} + 0 \text{ 円} = 96,000 \text{ 円}$$

有価証券の購入に関する問題は、第 103 回の問 5や第 108 回の問 4、第 119 回の問 2、第 121 回の問 5、第 124 回の問 5、第 133 回の問 1、第 138 回の問 1、第 143 回の問 1でも出題されているので、あわせてご確認ください。

4. 固定資産の購入に関する問題です。

固定資産の購入時に発生した付随費用（購入にともなって発生する仲介手数料や整地費用など）は、**取得原価に含めて処理**します。

過去の本試験では、土地の購入時に購入代金と付随費用をあわせて支払う処理がよく問われていましたが、今回の問題は「購入代金の支払い」と「仲介手数料の支払い」のタイミングがズレているので少し難しく感じたかもしれません。

本問のように支払うタイミングがズレた場合でも、付随費用である以上は取得原価に含めて処理します。

固定資産の購入に関する問題は、第 100 回の問 5や第 101 回の問 4、第 106 回の問 1、第 109 回の問 3、第 113 回の問 3、第 116 回の問 2、第 118 回の問 2、第 123 回の問 3、第 128 回の問 5、第 129 回の問 2、第 132 回の問 3、第 139 回の問 2、第 143 回の問 4、第 145 回の問 4、第 150 回の問 1でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. 借入金の返済に関する問題です。

本問は、問題文に「元利合計を普通預金口座から返済した」とありますが、これは文字どおり「**元本と利息の合計額を普通預金から返済した**」という意味なので、まずは利息の金額を日割りで計算しましょう。

$$800,000 \text{ 円} \times 7.3\% \times 200 \text{ 日} / 365 \text{ 日} = 32,000 \text{ 円}$$

借入金の返済に関する問題は、第 131 回の問 3や第 140 回の問 5でも出題されているのであわせてご確認ください。